



地域がん診療連携拠点病院＜川崎市立井田病院からのお知らせ＞

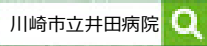
第65号

井田山（いだやま）

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、
市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

発行責任者 筒井 康仁 編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会
川崎市中原区井田 2-27-1 電話 044-766-2188（代）

当院ホームページをご覧ください



井田病院 病院長 挨拶



井田病院 病院長
中島洋介

川崎市立井田病院は昭和24年に開設し70周年を迎えます。また平成21年から再編整備に着手し、平成27年4月に現在の新棟が全面開院しました。

川崎市の中央部に位置する中核病院である当院は、川崎市内で唯一の結核病床を有するとともに、地域がん診療連携拠点病院として、予防から診断、治療、緩和、在宅医療に至るまで切れ目のないがん診療に力を入れるなど、特色ある医療活動を展開しております。

また、2次救急医療への取組強化、先進医療機器の導入など、多様な医療ニーズに対応し、地域の皆様が安心して暮らせるよう診療機能の充実に努めております。

さらに、当院は神奈川県災害協力病院に指定され、災害時に災害拠点病院と連携・協力して医療を提供する任務を担っております。

そのほか、臨床研修指定病院として研修医を受け入れるとともに、専門看護師や認定看護師等の資格取得を積極的に支援するなど、教育環境を整備して優れた医療人材を育成し、地域医療水準の向上にも寄与しております。

今後も地域完結型医療のさらなる充実に向けて、地域の医療機関との連携を深め、それぞれの特長を活かしながら役割を分担し、地域全体で市民の皆様の健康を守るという視点に立って、医療に取り組んでまいります。引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新任副院長 挨拶

4月1日付で副院長に昇格いたしました。平成24年4月に川崎病院から診療部長・リウマチ科部長・総合診療科部長としてまいりました。当院周辺にはリウマチ専門医が常勤で勤務する病院がないことから栗原夕子医師とともに「リウマチ性疾患患者さんの笑顔のために」をモットーに同年12月に「リウマチ膠原病・痛風センター」を創設しました。幸い近隣の先生方のご理解・ご協力を頂き5月には「リウマチ膠原病病診療連携の会」も通算10回目を迎えます。また、宮森先生の定年退職に伴い「かわさき総合ケアセンター」も担当しております。引き続き自治体病院として市民のためのより良い地域医療の一翼を担わせて頂きたいと何卒宜しくお願い申し上げます。



井田病院 新副院長
鈴木 貴博



新任医師紹介



～外科 担当部長～

なつ きんげん
夏 錦言

この度、川崎市立川崎病院より井田病院に異動しました 夏 錦言(なつ きんげん)と申します。井田病院におきましても、がん拠点病院として最新の胃癌治療、腹腔鏡手術を積極的に行っていきたいと思っております。胃癌治療という「闘病」は、決して楽な闘いではありませんが、全面的にサポートさせていただきます。



おく かよ
奥 佳代

～内科、リウマチ膠原病・痛風センター 担当部長～



この度平成 31 年 4 月より、川崎市立井田病院内科、リウマチ膠原病・痛風センターで勤務させていただくことになりました。内科の一般診療の他、リウマチ・アレルギー疾患についても診療を担当させていただきます。

また、健診・人間ドックの担当もさせていただきます。地域の皆様の健康生活の維持に対して少しでも、お役に立てましたら幸いです。どうかよろしくお願い致します。

～泌尿器科 医長～

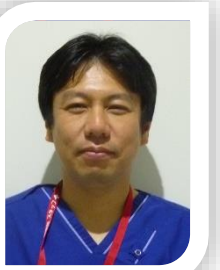
よこみぞ ゆみこ
横溝 由美子

4 月より井田病院に勤務させていただいている横溝由美子です。2002 年横浜市立大学卒です。いろいろとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうかよろしくお願い申し上げます。



はるなり まなぶ
春成 学

～救急総合診療センター 副センター長



副救急総合診療センター長として、他科の医師と協力して近隣地域の皆さんの救急需要にこたえられるシステム作りを目指します。また緩和ケア内科兼務で在宅医療や緩和ケアの勉強も同時にさせていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

～整形外科 医長～

さっさ ともき
佐々 朋生

4 月に赴任致しました佐々と申します。専門分野である膝の治療を通じて、当地域の医療に貢献して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



かいほ まゆみ
海保 真弓

～耳鼻咽喉科 副医長～



はじめまして。海保(かいほ)真弓と申します。耳鼻科は耳・鼻・のどだけでなく、首やのみこみ、めまいなど、実は幅広くカバーしています。なるべくお待ちせず、でも丁寧な診察を心がけます。よろしくお願い致します。



診療科紹介「糖尿病内科」

かなざわやすひこ
文責：金澤寧彦 部長

当科では、病型を問わず糖尿病と診断された患者様に対する教育指導に始まり、既に合併症を発症して他科の治療を受けている方々、糖尿病昏睡などの緊急を要する病態や、種々の理由で治療に難渋している方々に至るまで幅広い病態の患者様に対応しております。また内分泌疾患の患者様にも対応しており、糖尿病の患者様も含めて周辺の診療所、特に糖尿病専門の診療所と緊密に連携した診療を行っております。現在糖尿病内科の担当医師は6名おり、6名とも糖尿病専門医の資格を有しております。糖尿病治療すなわち食事療法、運動療法、薬物療法（インスリン注射だけでなくインスリンポンプ等の先進医療も含まれます）に関し、医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、運動療法士、臨床心理士の多職種チームで協力して患者様の問題解決の一助となるよう日々努めております。また糖尿病の患者様達で、糖尿病に関する知識を深める勉強会を年に数回行い、療養意欲を高める『火曜会』という患者会もあり皆様の参加を広く募っております。



* 取り扱っている主な疾患

糖尿病（1型、2型、その他の糖尿病）、
内分泌疾患（甲状腺、下垂体、副腎、副甲状腺などの病気）、高脂血症

* 糖尿病教育入院について

1週間及び2週間の2種類のコースの糖尿病教育入院を行っております。糖尿病に関する知識を得ていただく、実際に糖尿病食を経験していただく、等のほか、眼科や歯科受診をはじめ全身の検査を行って糖尿病の合併症を評価いたします。教育入院のお申し込みには糖尿病外来を受診していただく必要があります。

* 平成31年度 糖尿病教育 入院実施日（詳細はホームページもご参照ください。）

原則として第1、第3月曜日スタート、第1週目は2週間コースと1週間コース、第3週目は1週間コースのみです。第1、第3週に休日があれば教育入院を行いません。

- 1 2019年6月 3日～6月14日（1週間コースは6月7日まで）
- 2 2019年6月17日～6月21日（1週間コースのみ）
- 3 2019年7月 1日～7月12日（1週間コースは7月5日まで）





食塩について

文責：食養科 亀山

患者さんからのご意見として「味が薄い」「汁物がほしい」「麺が食べたい」とのご意見が多く寄せられます。そこで食塩についてのデータ、現状を見ていきたいと思ひます。

まず、摂取量として厚生労働省から発表されている2017年度「国民健康・栄養調査」によると、食塩摂取量は20歳以上男性10.8g/日、女性9.1g/日となっており年々減少しています。一方で目標量としては2015年版「日本人の食事摂取基準」（厚生労働省）では18歳以上男性8.0g未満/日、女性で7.0g未満/日とされており、これを参考に一般食の献立を立てています。また、心疾患や腎疾患などで食塩制限が必要な患者さんの目標量は各ガイドライン6.0g未満/日となっており、実際の食塩摂取量と提供している食塩量の差がお分かりいただけると思ひます。

食養科では消費税の増税、食材価格の上昇などの食材の問題をはじめ、調理スペースや作業工程なども考慮しながら、薄味でもおいしくいただけるよう職員一同日々努力しています。



【こんな食品に注意】

- ・汁物
インスタント味噌汁約2g
インスタント味噌汁減塩約1.5g
- ・麺類
インスタント麺4.8g
(めん・かやく2.0g、スープ2.8g)

※日本即席食品工業協会のデータより

- ・漬物
梅干し(大粒1個20g)約1.5g

※文部科学省日本食品標準成分表2015年版より



【薄味でもおいしく食べるために】

- ・しょうが、三つ葉、しそなど野菜の香りをアクセントにしましょう。
- ・お酢やレモン汁などの酸味でさっぱり感を出しましょう。
- ・だしわり醤油や減塩しょうゆを利用しましょう。(市販のだしの素には塩分が含まれるものが多いです。)
- ・素材の表面に味をつけましょう。(表面の味は濃く感じられます。)
- ・味付けのメリハリをつける。(すべて薄味ではなく普通の味と薄味を組み合わせましょう。)



市民公開講座のお知らせ

『大腸がんから命を守るには』 ～必要なヒントをお伝えします～

井田病院消化器外科 部長 有澤 淑人

今回、がんの早期発見・早期治療の重要性について講演します。
近年、大腸がんは増加傾向にあり、大腸がんの検査として大腸内視鏡検査は大変有効です。
大腸がんから命を守るために必要なヒントをお伝えしたいと思います。



日時 | 2019年5月23日(木) 14:00～ 定員 | 80名(当日先着)
会場 | 井田病院 2階会議室 参加費 | 無料 ※申込不要